

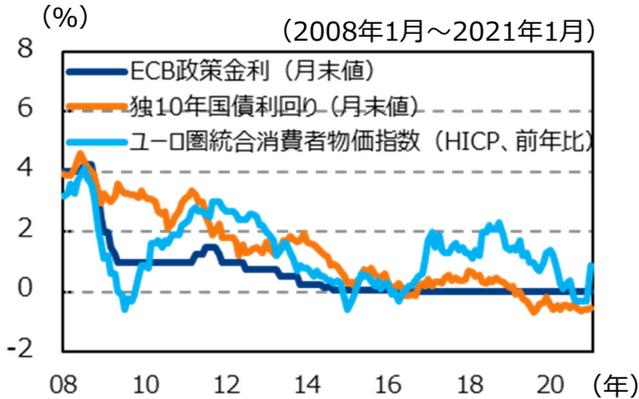
欧州マーケットビュー



- 2020年10-12月期のユーロ圏の実質GDPは前期比▲0.7%となり、市場予想▲0.9%を上回りました。2020年11月以降、ドイツやフランスでロックダウンが再び実施されたことなどにより、サービス業は悪化したものの、製造業が予想以上に強かったことが落ち込みを和らげたものとみられます。
- EU（欧州連合）は財政ルールの適用（財政赤字のGDP比を3%以下にすることなど）を2021年も見送ることを示唆しており、当面は拡張的な財政運営が続くと見込まれます。

金利とインフレ率

ユーロ圏のHICPは、2021年1月は基準変更等の特殊要因により前年比プラスでした。金融緩和の長期化が意識され低金利が続いています。



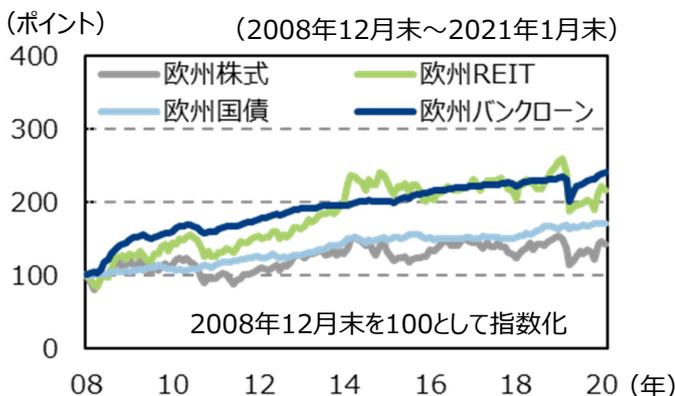
企業景況感

ユーロ圏の企業景況感は、足元では製造業が堅調に推移する一方、サービス業がやや低下しています。



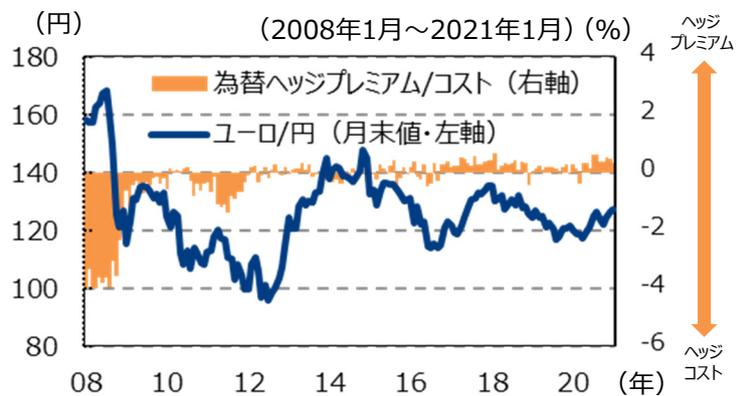
欧州各資産の推移

欧州株式等のリスク資産が足元でやや軟調に推移するなか、欧州バンクローンは堅調に推移しています。



ユーロ/円と為替ヘッジプレミアム/コスト

日本円の金利がユーロよりも高い状況から、ユーロ/円はヘッジプレミアムが生じています。(2021年1月：0.33%)



(注) 為替ヘッジプレミアム/コストは直物為替レートと期日1ヵ月後の為替予約レートとの価格差（月間平均値）から簡便法により算出。
 (出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※使用したインデックス（いずれもユーロベース）
 欧州株式：ユーロストックス50指数、欧州REIT：FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Index、欧州国債：FTSE欧州国債インデックス、
 欧州バンクローンは：クレディ・スイス・ウェスタン・ヨーロッパ・レバレッジド・ローン・インデックス

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的財産権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。